

## 第3回市民懇話会(平成22年10月15日開催)

### ワールド・カフェ(意見等一覧)

※当日、委員から出された意見に、欠席委員の意見等を追加して掲載

#### A.「出雲のここが嫌いだ。ここが問題だ。」

・人(人柄)・・・私見であるが、団塊の世代に象徴される日本の高度経済成長を支えてくださった世代に特に多いと感じるのですが、出雲の経済発展に尽力されてきた自負からか、自分中心的な考え方を一方、人の輪を好みつつ、作り上げたものは後輩に譲れない。立ち止まって周囲を見ることができない猪突猛進型の傾向が他地域の方より強く、閉塞的で好きではありません。

封建的、閉鎖的、内向的、排他的等々の風土

特に利便性において、市の中心部と周辺部の格差が大きいのではないかと。

若い人達の就職先が少ない。収入も低そうだ。

「日本一の老人県」は自慢にはならない。

産業に対する意欲、意識が乏しい。

独特の文化はあるが、固定的で後向きの傾向。

道路・・・細い道路が多い、イベント会場周辺がすぐ渋滞になる

交通アクセス・・・バス・電車の本数が少ない

老人ホーム等施設が不足していると聞く・・・老後が心配

保育施設不足・・・仕事を決める前に保育所が決められないで困っている人がいる

観光地なのに枯れた松の木が沢山目に付く

農業・林業・漁業それぞれ後継者が少ない(なぜ少ないのか?)

会合などで、自分の意見をはっきりと言わない

(終わってから、陰で文句を言う)

話をしても本心が分からない人が多いように思う。

道理よりも血縁や地縁こそが物事判断の最優先にされる。でもこれは出雲だけではない。

徐々に改善されつつありますが、まだまだ固定的で封建的な面が残っています。

一部の人の意見でものごとが決定される傾向があるようです。

合併して広域になったために、市全体に充分目が行き届かない点があるようです。

嫌いな事を色々云ったが、やはり、今は出雲が私にとって一番住みやすい所だと改めて気付かされました。これは、自分がよそ者(石見人)だと思いつつも、出雲でいろいろな人や立場の違う人との交わりを通して、親しい友人、知人にも恵まれ、バリアフリーのまちづくりをしていくなかで、少しずつその成果が出ている事が嬉しいからです。

自己の選挙区の利益を優先的に考え、市全体のことを軽視している市議会議員の存在を、しばしば耳にすることは愉快的なことではなく、問題だと思っています。

正直に言うと、私にはまだ、出雲市民としての自覚がありません。私は、他県の出身で、しかも、転勤族の暮らしを長くしてきました。16年前に大社町の住民に初めてなったときも、大社町民としての自覚を持つには数年がかかりました。なかには、住んだその日から、外部の人間を当たり前前に受け入れる土地柄の町もあります。大社は数年かかる町でした。合併して出雲市になりましたが、まだ「出雲」という市が、私の中で姿を持ちません。旧出雲市でもない、そして大社町でもない、新しい「出雲市」の姿がみえてこないのです。2市4町が一緒になったものの、まだ、「ひとつの出雲市」になっていないからだと思います。旧出雲市は、今の出雲市を旧出雲市と同じとみなしているように感じます。実際には、素晴らしい特長をそれぞれに持った2市4町の集合体であるにもかかわらず。もっと各市各町がもっていた独自の素晴らしさをきちんと認め、活かし、利用していくことが必要だと思います。そうすれば、各市町のいいところを集めた、魅力的な「新出雲市」となることができます。旧出雲市の人が、「新出雲市」を認識すること。そして、他の1市4町が、「新出雲市」の一員であると自覚し、新しいまちを作り上げようと力を合わせる。今の出雲市にはそれが欠けていると思います。

道路の側溝・周辺が汚いことや、(道路の)雑草が目につかない地域を探す事の方が難しい状態である事が問題だと思います。

教育現場である学校の校庭の管理が、同じ出雲市なのに違いすぎる点が納得いかない事が問題です。書ききれません

① 外国人が島根県一多く住んでいる。

以下のような話を色々ところで聞きました。

団地では、階下の住人のことも考えずに夜、どたばた騒ぎ、注意しても聞かない。

集団を作って大きな声でしゃべっている。

ゴミの出し方の決まりを守らない。

勝手に川端の土地を耕して野菜を作っているようだ。

店の商品を袋から勝手に出す。

このような行動をする反日教育を受けた中国人・韓国人は本当に日本社会にとけ込もうとしているか疑わしい。しかし、温和しい日本人は結局、泣き寝入りの状態。

② 自治会に属さない人が益々増えつつある。

〇〇地区の場合(加入率50パーセント)

・新興住宅地に入居した住民が自治会を立ち上げない。

リーダー不在なのか、近所付き合いが面倒なのか、町内会費のお金を出すのがいやなのか…。

・市役所職員であるにもかかわらず自治会に入らない人がいる。

・地元の島根大学医学部付属病院の医師であるにもかかわらず、町内会に入らない。

・民間アパートは、大家は町内会があると入居してもらえないと考え、町内会のないところが多い。

もちろん、そこに住む外国人も町内会にはいない。

③ 特に出雲市は無関心が覆っている様に思う。さみしく思う。

様々な所から来た人の多く住む〇〇地区の例では、PTA・学校振興会・学校地域運営理事会が機能していない。無関心。自分に負担と思うことはしたくない、事なかれ主義、すべて従来通り。人選方法が不明瞭だが変えようとはしない。保護者同士・学校と保護者の意思疎通ができていない。

・〇〇地区では、この数年の間に、親子間の殺人事件が起こった。これも学校と地域、そして保護者同士のネットワークが常に張られていれば、防げて事だと思う。

昨年のお天皇陛下ご即位20年のお祝いの記帳所(市役所内)に訪れた市民が市職員を含め大変少なかった。

本音がなかなかでないところ。控えめなところ。

田舎の良さを見過ごし、都会風(便利)になろうとしているところ

会議では、自由な意見をはばかれる。

人の足を引っ張る(松の芽とダイコン)

出雲への愛がない。

出雲時間の風習がある。

働く場がない。

市職員の態度が悪い。

障がいをもっていると、上から見られる気がする。  
中央思考で中央集権的である。  
組織で動いているため、個人が出ない。(上から抑えられてた風習になっている)  
山陽などと比較し、暗い感じ(気質)がある。  
観光で人を呼ぶのは良いが、バランスが大切。市外の人に力を入れず、市民対応が薄れている。  
住んでいる人のための神の町であるべき。観光だけピックアップするべきでない。  
家庭教育が大切。(事件など発生したことから)

## B. 「出雲のここが好きだ。ここが誇らしい。」

・人(人柄)・・・私見であるが、特に70代くらい以降の諸先輩方の人柄。古き出雲の歴史文化の神仏事や出雲弁などの文化を尊重、継承し、他者への慈愛に溢れていると日常的に私は感じています。

人情豊か、人に優しい、血縁関係を重んずる風土

松江、宍道湖も含めて、出雲の自然環境は抜群。出雲市も斐川町との合併を機会に、農業や産業(観光も含めて)の活性化に取り組むべきであろう。

昔からの祭りが各地区で継承されてきている  
出雲大社・日御碕等有名な観光地がある  
清掃ボランティアに熱心な人が多い  
全国大学駅伝が毎年ひらかれる

何よりも、自分が生まれて育ったところだ(好き嫌いを超越したもの)  
だから、よりよい町にしたい

市役所の職員さんは熱心に話を聴いてくれる。

人情的な暖かさ。困ったときに助け合える。農産物資源が豊富。

文化的な面(芸術・文化)が大切にされ充実し、成果があがっている点  
歴史博物館の建設や科学館の完成により子どもたちの学習に役立っている点  
観光面をPRしている点  
出雲大社周辺を中心に活気づきつつある点

やはり、昔からの歴史と伝統の重みを感じるからです。

出雲市には美しい自然があります。他に類を見ない歴史があります。

朝、東の空が明るくなると、なんて素晴らしい朝日だろうと思います。空が広く、うっすらと紫からうすい白に変わっていくときの空気のかぐわしいこと。さわやかなこと。山々を背景に見る出雲ドームも白くて美しい。

日御碕の美しい灯台。海岸沿いの眺め。がけの下の海の白い波。鶺鴒の古い町並みはまるで昔の時代に戻ったようです。大社の浜から見る多伎の眺めはいいものです。そして、多伎の浜から見る大社の眺めも美しい。夕日が沈む多伎の地平線。夜になると、こんなにたくさん星があるのかと思うほどの星空がいっぱいに広がります。

佐田にも平田にも湖陵にも、美しい自然が満ち溢れています。そして、自然だけでなく、そこで暮らしてきた人々の営みの歴史が、かけがえのないものとして、残されています。

自然や歴史こそ、作ろうと思っても作れるものではない貴重な宝です。出雲には、その宝がいっぱいです。

出雲は自然豊かはもちろんの事ですが、歴史・文化が大切にされています。特に神社は全国にも、世界にも誇れるものがあると確信しています。

①地域社会の発展に貢献した偉人がいる。

・大梶七兵衛…治水工事に私財を投じてやり遂げた。高瀬川を作り、地域の田畑を潤し その功績を地域住民は今も讃え続けている。

古志まつり・大梶踊り・学校の取り組み

②陸上自衛隊出雲駐屯地の市中パレード

・防衛、防災に取り組む同駐屯地をアピールするため、平成17年から続く行事。

・市のメインストリートでのパレードは中国地方では出雲だけ。

・だんだん市民にも親しまれるようになり、近年では日の丸の小旗も見かけるようになった。

③出雲大社のお膝元であり、地域の伝統芸能が多くあり、継承されている。

国指定文化財(重要無形民族文化財)・・・大土地神楽

県指定文化財(無形民族文化財)・・・見々久神楽他

人情が豊かな人が多いところが好きで、これは誇らしいとこだと思います。

風土 歴史

神の国「出雲」

出雲神話

パワースポット(出雲大社、須佐神社、韓竈神社、康国寺庭園、文化伝承館など)

豊かな自然(海、山、湖、川)

種類豊富な特産品(柿、ぶどう、魚、いちじく、ぜんざい、ワインなど)

「出雲」という名が全国的に通用する(「島根」よりも)

「出雲」と名のつくローカルブランドの全国発信

神在月(各種イベント)

元気な高齢者

音楽とスポーツのまち(自己表現の場が豊富)

島大医学部、看護短大など若者の育成の場が豊富

男女共同参画都市宣言のまち

弥生の森すばらしい

宍道湖をはじめとする独特の景観

渡り鳥やさまざまな植物がある。

## C. 「出雲はこんなまちになるといい。」

- ・人の温もりを実感できる「まち」・・・「おっとり」といった表現が適切かわかりませんが、歴史文化や、振興に尽力しつつも、人情味のある人柄をすべての世代において実現できる「まち」
- ・住んでいる人が利用しやすい「まち」・・・住環境に密接した道路(歩道が少ない、街灯が少ない、車線が少ない、医療・福祉に迅速とはいえない)
- ・観光文化資源として自慢できる「まち」・・・境港のような「まち」

上記A(「出雲のここが嫌いだ。課題だ。」)の排除、改革

活気と他県の人々との交流のあるまちにしたい。

受け入れの精神と・・・がもっと必要。

文化振興のために、「本物」の芸術や芸術家を招くことはやはり必要。松江に比べて「本物」に接する機会は少ないようだ。

福祉もさらに向上することが必要。

市民参加の行事がもっと盛り上がり、老人参加の行事が増えると良い

他県市から転勤者でなく出雲市は生活し易いから家族で来ましたと言われたらいい

出雲の山・川・平野・海関連の産業が後継者不足にならないで発展すること

合併のスケールメリットを生かしつつ、各地域(旧町)が、それぞれの良さを生かした町(金太郎飴のようななども同じものではなく、個性の集合体)

住民レベルでの話が施策に反映されるまちにしていきたい。

インテリジェンスのあふれる知的水準の高いまち。

大学を活かして情報発信。

全市的に現存している歴史、観光地、伝統文化など総合的に統括して市民全員が活用できるような施策を進めると良い。

男性も女性もあらゆる場面で、お互いを認め合い支え合える男女共同参画社会になると良い。

両性が自由に発言できる社会の実現へ・・・

学校教育を充実する出雲市になることを・・・

すべての人が人権を尊重される、一人ひとりが大切にされるまちになること

犯罪のないまち、住みよいまち、住みたい希望のあるまちに・・・

あの場所でみんなで話し合った事以外に気付かされたことは、やはり皆さんは出雲人であることに誇りを持っておられる事がすばらしい事だと思います。

人が人間らしく暮らせるまち。

こどももおとなも、自分に自信を持ち、人に優しく、お互いを認め合うことができるまち。

自然の中で、豊かな心を持って暮らしながら、同時に便利で現代的な暮らしを享受することが可能なまち。

出雲から世界へ、世界から出雲へ、簡単に行き来できるまち(物理的にも心情的にも)。広い視野に立ちながら世界の中に居場所をもちつつ、同時にふるさとの豊かさをゆったりと楽しみながら生きていけるまち。

こんなまちになるといいと思います。

次世代を担う子ども達が、一度県外・市外にでも必ず帰ってくる出雲市に・・・

住む上でメリットがあると子ども達が云える出雲市になると良いです。

多数の市民の意見が、より反映された行政が行われるまちになるといいと思います。

①自国の歴史を忘れた民族は滅びに至る」といわれる。国の歴史・地域の歴史・先祖や家族の歴史を忘れず、子々孫々に伝えていくための様々な活動を展開する町になるといい。それにより、ふるさとへの誇りの再生に繋がり、さらには個性豊かな地域作りに資すると思う。

・具体的には、地域の偉人「大楯七兵衛」を町おこしのお手本としてさまざまところで啓蒙活動をする。(マスコットを作る、映画の誘致など)

そして、地元の伝統芸能をより活発なものとなるよう支援し、現在絶えている芸能を復活する支援もする。

・学校が地域の芸能伝承の担い手ともなり、地域に根付いた特色ある学校教育をしていく。それを支援する。

②出雲市内でも各地で「戦没者慰霊祭」が行われています。実際参列される方は、ご高齢となられた遺族の方がほとんどです。今日の平和な日本の礎となられた戦没者の方々のことや荒廃した日本の復興に尽力された先人への感謝の心を取り戻さなければならないと思います。このような行事により多くの市民が参加する出雲市にしたい。

・やはり、教育が大切だと思います。(教育基本法の通り、国を郷土を愛し、誇りを持つ日本人教育)

③青年にがんばってもらいたい。

・消防団にたくさんの若者が入ってくれる出雲市。

・青年が中心となって地域の伝統芸能伝承に貢献して欲しい。

地域の繋がり、活力が生まれる

④住民と外国人が仲良く気持ちよく暮らせる出雲市になるといい。

・住民が外国人に出雲市のルールを正しく伝え、守ってもらう方法を学ぶ講座を開く。

・外国人に出雲市(日本)のルールを学んでもらう講座を開く。

対外的に自慢できる街。 子孫に自慢できる街。

「幸せ感」を感じられるまち。(将来への不安が無いまち)

市民が気軽に自由に話し合える場のあるまち。

笑顔のあるまちでありたい。

退職後でも地域の人と関わりあえるまち。

市外の人に「出雲市はいいな、住みたいな」と言ってもらえるまち。

思いやりがあり、男女隔たりなく、人情のあるまち。

公共交通機関の発達したまち。中心部と周辺部での差が大きい。

障がい者や高齢者など弱者にとって住みやすいまち。(ユニバーサルデザイン・ユニバーサルサービス、心のバリアフリー)

地域コミュニティが大事にされるまち。

住んでいる人が互いに顔の見えるまち→犯罪のないまち。

子育てがしやすいまち。

きれいなまち。

たくさんの観光客が来るまち。(資源はある。呼び込む手法の問題。)

島大医学部や看護短大など市外・県外から来た学生を地域に巻き込んだ活動をする。

レベルの高い市職員のいるまち。

## D. 「この会でこんなことを議論したらいい。」

応募時に提出した作文読み合い、それをテーマにお互いの主張を理解し、今後の出雲に何が求められているのか、求めたいのかを話しあえば良いと思います。

私自身、当初から既存の数ある条例も理解しない状態で、基本条例(仮称)を議論するのは、如何なものかと疑問に思っていました。アドバイザーの先生の見解や他の委員の皆様もあまりこだわっておられないような雰囲気の中で、私もこれからは頭の中を白紙にして、臨みたいと考えています。

少々、不勉強なこともあって、私は「既存の条例」「市民の思い」の隔たりが理解できていない。第3回のワールドカフェも学校のクラス活動のレベル(?)。まだ、助走の段階かもしれない。「自治の基本理念」「自治の基本原則」も今少し討議して理解を深めたい。

アドバイザーの先生方を中心に方向性・進行手順をあらかじめ決めてもらいその内容については、出雲らしさを盛り込んで決められたら良いと思います。  
議論する内容については、まだ分かりません。

条例の中身として、①まちづくりの理念 ②住民参画の方法 の二つを盛り込みたい。特に、②については、合併後の各地域協議会が、実態として機能していないことから、(期限も10年間とされている)これに代わる機能的な住民参画の仕組みを作りたい。

官民の協働について  
住民投票について  
住民(市民)が担う責任について

市民が共有できる価値観を二、三本まとめる。常に意識できる憲章的なものではどうか。

子どもたちの健全な育成について  
市民の願いは、どこにあるのかを知るにはどうしたら良いか  
開かれた市の運営をするためにどうしたら良いか  
現代の傾向として、権利は充分主張するが自己の責任はなおざりにしている現状について  
行政と市民との役割について  
出雲市自治基本条例(仮称)の方向性について 具体的な取組みについて

これが一番の問題だと思います。

2市4町の合併でできた「新出雲市」。

全員で、まったく新しいまちをつくるのだ!!という気持ちで、話し合いを進めたいと思います。まず、「なんのために」この懇話会をひらき、「なにを」作り上げようとしているのか。そこをみんなで共通理解してから、議論にはいきたいです。

懇話会が未だに完全理解できていない為、強く云える事ではないのですが、めだたない一市民が困っている、些細な事も、この懇話会で議論しあえたらと思っています。その些細な議論が条例につながったら最高です。

この、懇話会という会がどれほど認められるものかは分かりませんが、やはり、自治基本条例(仮称)市民懇談会という名前も付いているとおり、自治基本条例とは何かを学んでいく市民の会でなければならないと思います。そこで、自治基本条例を制定した自治体はどうなったのか、よかった事、また良くなかった事、また制定に至らなかった自治体はなぜなのか、というような事をまず皆がそれぞれ勉強し、それを持ち寄り、そして、出雲市には基本条例が本当に必要なのかそうでないのか分かってくると思います。まずは、勉強から始めるべきではないでしょうか。

広く、市民に「基本自治条例」について、情報を発信するにはどうしたら良いか?  
また、どうしたら興味を持ってもらえるか?



いたずらに現状の問題点を取り上げるより、市民が、やる気が出るような事項を中心に論議されることを望みます。

懇話会のメンバー1人1人が基点となり、より多くの方(市民)との出会いが創出される方法は何があるのか考えたい。また、そのことを通じて新しい市民ネットワークの構築ができればと思っている。

いろいろな人と話をしたい。

どのようなまちにしたいか議論したい。

議会にまかせきれないものを自治基本条例で

何故、自治基本条例が必要なのか

自治基本条例とは

過去の条例にどんなものがあるか

自治基本条例がどんなものか分からない中で何を議論していいのかわからない。

既存の条例との整合性は？